

サッカースタジアムの建設に向けた取組

1 概要（サッカースタジアム建設の基本的姿勢）

サッカースタジアムは、広島の新たなシンボルとして広域的な集客効果を高めるなど、広島市ひいては広島県全体の活性化につながるものであり、さらに、サッカーを通じた国際交流が期待できる中で、その建設場所である中央公園広場と平和記念公園が一体となった平和発信の拠点となることを目指す。

また、サッカースタジアムは、サッカーのための施設にとどまらず、都心部の更なる活性化に寄与することが期待され、スタジアムが都心部の再生の起爆剤となるよう、スタンド下を活用した賑わい機能の導入を進めるなど多機能化・複合化を図り、年間を通じて人が集まるスタジアムとしていくとともに、若者を含む幅広い世代が楽しめるような施設とする。

さらに、旧広島市民球場跡地を含む中央公園全体の空間づくりなどを進めることで、平和記念公園から旧広島市民球場跡地、サッカースタジアム、広島城、ひいては紙屋町周辺に至る、中央公園全体を使った大きな周遊ルートの形成につなげ、この一帯が、中四国地方の発展を牽引する広島の新たな賑わいの拠点となるように取り組む。

2 取組状況

(1) 「新しいサッカースタジアム・公園に関するアンケート」の実施

令和元年10月1日から14日までの間に県民・市民等を対象としたWEBアンケートを実施し、9,517件の回答を得た。集計結果は参考資料1-2のとおり。

(2) 「サッカースタジアムについて意見を聴く会」の開催

令和元年10月21日に第1回、12月20日に第2回を開催。委員及び議事録については参考資料1-3、参考資料1-4、参考資料1-5のとおり。